操作マニュアル

振動プレート

VP 1340
VP1340W
VP 1340W-L
VP 1340W-LL
VP 1340W-LF
VP1550
VP1550W

製造業者

Wacker Neuson Manila Incorporated
Lot 2,Blk 1 Phase 3, PEZA Drive, First Cavite Industrial Estate, Brgy. Langkaan
Dasmariñas, Cavite, Philippines
Tel: +63-(0)2-580-7136 Fax: +63-(0)2-580-7122
www.wackerneuson.com

取扱説明書翻訳版

当使用説明書は原書の翻訳版である。使用説明書の原語は米国英語である。

前書き 3

1. 安全情報 4

1.1 操作時の安全 5
1.2 エンジン運転についての作業者の安全 6
1.3 保守点検時の安全 7
1.4 ラベル位置 8
1.5 警告と情報ラベル 9

2. 技術データ 12

2.1 エンジン 12
2.2 プレート 13
2.3 騒音と振動 13
2.4 寸法 14

3. 操作 15

3.1 推奨燃料 15
3.2 使用目的 15
3.3 始動前 15
3.4 始動 16
3.5 停止 16
3.6 操作 17

前書き

このマニュアルには，この Wacker Neuson 製品の安全な操作と保守のための情報や手順が書かれています。あなた自身の安全と事故防止のため，このマニュアルに記載されている安全指示をよく読んで理解し，守ってください。

このマニュアル又はコピーを機械と共に保管して下さい。もし，このマニュアルを紛失した場合や追加のマニュアルが必要になった場合には Wacker Neuson 社にご連絡下さい。この機械はユーザーの安全を考慮して作られていますが，操作や保守点検が不適切であれば危険を伴う事があります。操作指示は確実に守ってください！ この機械の操作あるいは保守点検作業で疑問がありましたら Wacker Neuson 社までご連絡下さい。

このマニュアルに記載された情報は，このマニュアルの発行時点で生産されている機械を基準にしています。Wacker Neuson 社はこの情報のどの部分であれ事前の通知なく変更する権利を保有しています。

当社は，事前に通知することなく，当社製品を改善するためまた安全基準を向上させるための技術的変更を行う権利を保有します。

1. 安全情報

このマニュアルには,「危険 (DANGER)」「警告 (WARNING)」「注意 (NOTICE)」及び「注」の表示があり，これらの内容は，人身傷害，装置の損傷，又は不適切な保守点検作業を防止するために守らなくてはなりません。

これは安全警告シンボルです。このシンボルは人身傷害の危険を警告するために使用されます。このシンボルのついた安全メッセージに従わない場合は，人身傷害または死亡事故を引き起こす危険があります。

危険

「危険 (DANGER)」は死亡事故又は重症事故につながる危険な状況を示しています。

警告

「警告 (WARNING)」は死亡事故又は重症事故を引き起こす可能性がある危険な状況を示しています。

注意

「注意 (CAUTION)」は軽症または怪我を引き起こすおそれがある危険な状況を示しています。

注意 ： 安全警告シンボルなしで表示される注意は物品の損傷につながる危険な状況を示しています。

注：その作業に重要なその他の情報です。

1.1 操作時の安全

機械を安全に操作するには慣れと適正な訓練が必要です。機械の操作が不適切な場合または未熟な人物が機械を操作した場合には危険が伴います。このマニュアルとエンジンマニュアルの両方に記載された操作説明を読んで，操作機械全ての配置場所と正しい操作方法に慣れておいてください。未経験者は機械の使用を許可される前にこの機械に慣れた人物からの指導を受けるようにして下さい。

1.1.1 適正な訓練を受けていない人には本機械の操作を許可しないで下さい。本機械を操作する人は，それに伴う危険と傷害についてよく知っている必要があります。

1.1.2 エンジン運転中またはエンジン停止直後にはエンジンまたはマフラーに触らないで下さい。これらの部分は高温になり，火傷の危険があります。

1.1.3 Wacker Neuson 社の指定した以外のアクセサリーやアタッチメントは使用しないで下さい。機械の損傷及び使用者に傷害を与える可能性があります。

1.1.4 ベルトガードのない状態では本機械を絶対に運転しないで下さい。駆動ベルトやプーリーが露出した状態では重症事故を引き起こす危険があります。

1.1.5 作動中の機械を放置しないで下さい。

1.1.6 本機の使用前に，作業者が適切な安全対策と操作技術に習熟しているか確認してください。

1.1.7 機械の使用時には作業場所に適した保護着を必ず着用して下さい。

1.1.8 機械の使用時には必ず防音器具を着用して下さい。

1.1.9 機械を使用しないときは必ずエンジンの燃料バルブを閉じて下さい。

1.1.10 機械を使用しないときは適切に保管して下さい。機械は清潔で乾燥した場所に置き，子供の手が届かない場所に保管して下さい。

1.1.11 必ず，全ての安全装置及びガード類が適切に装着され，作動している状態で本機を使用して下さい。安全装置の改造または無効化はしないで下さい。安全装置またはガード類のどれかが無い状態，または作動しない状態では機械を使用しないで下さい。

1.1.12 本機を使用する前に，必ず操作マニュアルを読んで理解し，この指示に従って下さい。

1.2 エンジン運転についての作業者の安全

エンジンには運転時および燃料補給時に特別な危険があります。エンジン取り扱いマニュアルでの警告情報と以下の安全ガイドラインを読み，これらを守ってください。警告情報と安全ガイドラインに従わない場合には，重症事故または死亡事故を引き起こす事があります。

1.2.1 室内または深い溝などの閉鎖された区域では，排気ファンやホースなどが配備された適切な換気装置がないかぎり，本機を運転しないで下さい。エンジンの排気ガスは有毒な一酸化炭素を含んでおり，一酸化炭素を吸入すると意識を失う事があり，死に至ることもあります。

1.2.2 機械の使用中は喫煙しないで下さい。

1.2.3 エンジンに燃料を補給しているときは喫煙しないで下さい。

1.2.4 エンジンが高温のとき，または運転中に燃料を補給しないで下さい。

1.2.5 火炎のそばでエンジンに燃料を補給しないで下さい。

1.2.6 エンジンに燃料を補給するときに燃料をこぼさないで下さい。

1.2.7 火炎のそばでエンジンを運転しないで下さい。

1.2.8 燃料タンクへの補給は必ず換気の良い場所で行って下さい。

1.2.9 燃料補給後は必ず燃料タンクキャップを取り付けて下さい。

1.2.10 エンジン始動前に，必ず，燃料配管と燃料タンクに漏れや亀裂がないか点検して下さい。燃料漏れがある場合や燃料配管が緩んでいる場合には機械を使用しないで下さい。

1.3　保守点検時の安全

保守のされていない機器は危険な状態になります。長期間にわたって本機を安全かつ適正に作動させるためには，定期的なメンテナンスと適時な修理が必要です。

1.3.1　運転中は機械の清掃または整備作業は行わないで下さい。回転物が深刻な傷害を引き起こす事があります。

1.3.2　ガソリンエンジンで燃料を吸い込みすぎた場合に，点火プラグを外した状態で回転させないで下さい。シリンダ内の燃料が点火プラグ孔から噴出します。

1.3.3　ガソリンエンジンで燃料を吸い込みすぎた場合，又はガソリン臭がする場合には点火テストをしないで下さい。火花が飛んでガスに引火する事があります。

1.3.4　部品の洗浄にはガソリンやその他の燃料，あるいは引火性の溶剤を使用しないで下さい。特に密閉空間での使用は避けて下さい。燃料や溶剤からのガスが爆発することがあります。

1.3.5　マフラーの周囲からは，葉や紙，段ボール箱などのゴミを遠ざけて下さい。高温のマフラーからこれらに火がついて火災の原因になる事があります。

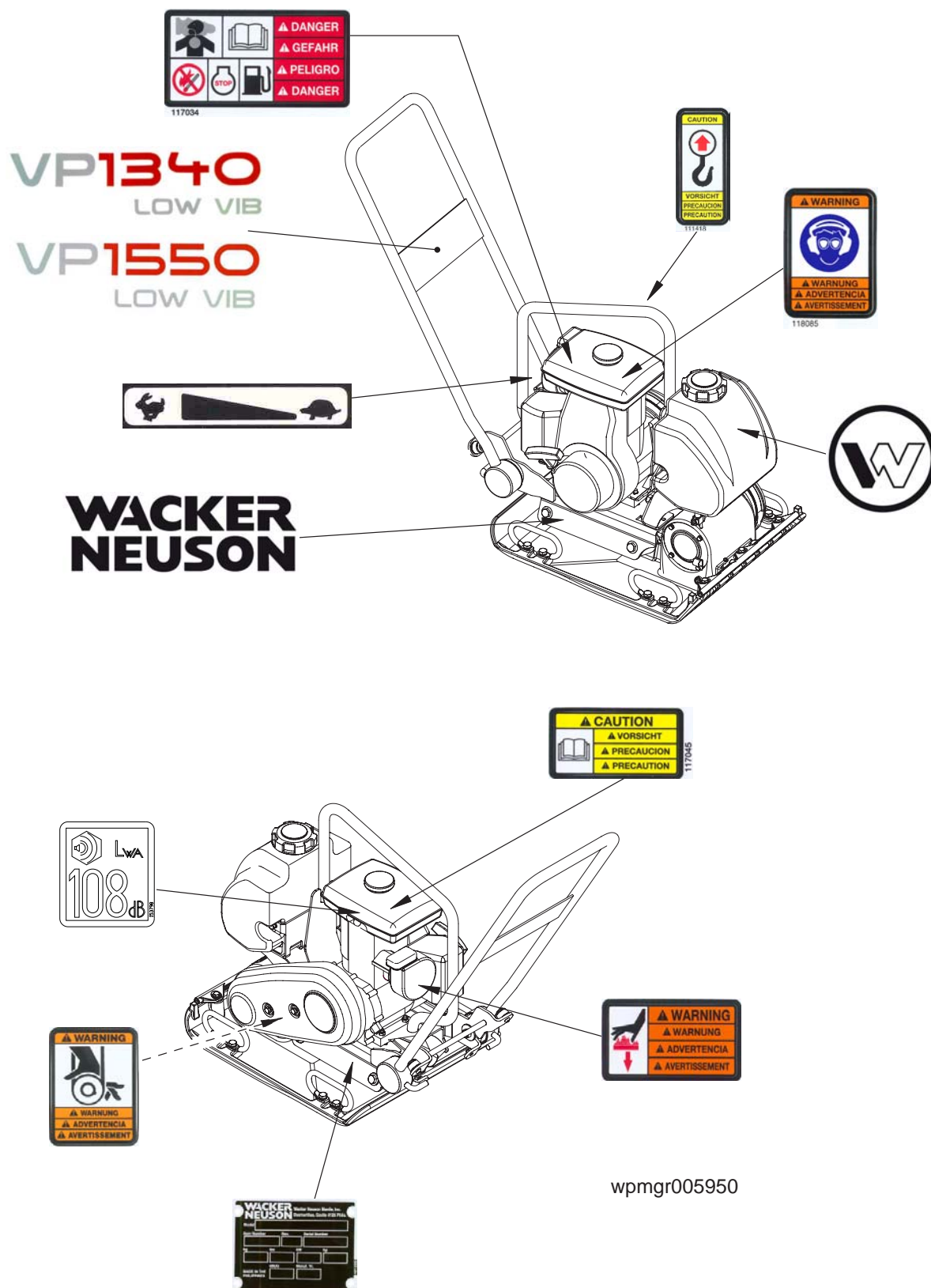
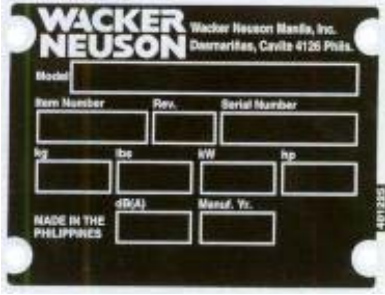
1.3.6　磨耗または損傷した部品は，必ず Wacker Neuson 社が設計し，推奨するスペアパーツと交換して下さい。

1.3.7　ガソリンエンジンを搭載した機械では，整備作業を行う前に必ず点火プラグの接続を外して突発的な始動を防止して下さい。

1.3.8　常に機械を清掃してラベル類が読めるようにしておいて下さい。紛失したラベルや読みにくくなったラベルは交換して下さい。ラベル類は重要な操作装置を説明し，また危険や傷害について警告するものです。

1.4　ラベル位置

DANGER
GEFAHR
PELIGRO
DANGER
117034
VP1340 LOW VIB
VP1550 LOW VIB
CAUTION
VORSICHT
PRECAUCION
PRECAUTION
111418
WARNING
WARNUNG
ADVERTENCIA
AVERTISSEMENT
118065
WACKER NEUSON

wpmgr005950

1.5 警告と情報ラベル

Wacker Neuson 社の機械では，必要なところには国際標準マークを使用しています。こうしたラベルには以下のものがあります。

ラベル	意味
WARNING / WARNUNG / ADVERTENCIA / AVERTISSEMENT / 118085	警告！ 本機を運転するときには，必ず防音機器と安全ゴーグルを着用して下さい。
WARNING / WARNUNG / ADVERTENCIA / AVERTISSEMENT	警告！ 高温！
LWA 108 dB 153798	音圧レベルの保証値 dB(A)
WARNING / WARNUNG / ADVERTENCIA / AVERTISSEMENT	警告！ 回転中のベルトに引き込まれると手を負傷します。必ずベルトガードを取り付けて下さい。
CAUTION / VORSICHT / PRECAUCION / PRECAUTION / 117045	注意！ 本機を使用する前に，添付の取扱説明書を読んで内容を理解しておいて下さい。これを怠ると，使用者や周囲の人に危険を及ぼす事があります。
CAUTION / VORSICHT / PRECAUCION / PRECAUTION / 111418	注意！ 吊り上げ位置。

ラベル	意味
	スロットルコントロールレバー： 亀マーク ＝ アイドリングまたは低速 ウサギマーク ＝ 全開または高速
DANGER GEFAHR PELIGRO DANGER STOP 117034	危険！ エンジンからは一酸化炭素が排出されます。換気の良い場所で本機を使用して下さい。使用前に取扱説明書を読んでおいて下さい。本機のそばで火花や火炎を発生させないで下さい。また，可燃物をそばに置かないで下さい。燃料を補給するときにはエンジンを停止させて下さい。
VP1340 LOW VIB VP1550 LOW VIB	機種名スティッカー
	カンパニー・ロゴ
WACKER NEUSON	ロゴラベル

ラベル	意味
WACKER NEUSON Wacker Neuson Manila, Inc. Dasmariñas, Cavite 4126 Phils. Model Item Number Rev. Serial Number kg lbs kW hp dB(A) Manuf. Yr. MADE IN THE PHILIPPINES	各機械に貼付された銘盤で，型式ナンバーや製品ナンバー，改訂ナンバー，及びシリアルナンバーが記載されています。この銘盤に記載された情報を記録しておき，銘盤が紛失した場合や損傷した場合に使用できるようにしておいて下さい。部品を注文するときやサービス情報を求めるときには，必ず機械の型式ナンバーや製品ナンバー，改訂ナンバー及びシリアルナンバーが必要になります。
U.S. PAT. Nos.: OTHER U.S. AND FOREIGN PATENTS PENDING	この機械は一つまたはそれ以上の特許に保護されています。

2. 技術データ

2.1 エンジン

エンジン出力定格

SAE J1349 に準拠した純出力定格 実際の出力は、特定の使用条件により異なる場合があります。

製品ナンバー：		**VP 1340, VP 1340 W** 0008705, 0008706 **VP 1550, VP 1550 W** 0008707, 0008708 **VP 1550 W** 0630013	**VP 1340 W-L** 0630001 **VP 1340 W-LL** 0630002 **VP 1340 W-LF** 0630003
エンジン			
エンジンメーカー		Wacker	
エンジン型式		WM170	
定格回転数での定格最大出力	kW	4.2 @ 4000 rpm	
回転数	rpm	3600	
クラッチ接続	rpm	2100	
点火プラグ		NGK BR6HS Champion RL86C	
電極のギャップ	mm	0.6-0.7	
エアークリーナー	タイプ	デュアルエレメント、ウレタンフォームとペーパーエレメント	
エンジン潤滑	オイルのグレード	SAE10W30SE またはそれ以上のもの	
エンジンオイル容量	ml (oz.)	600	
燃料	タイプ	無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量	*l*	3.6	
バルブクリアランス(冷間時) インレット エキゾースト	mm	 0.07-0.13 0.17-0.23	

2.2 プレート

製品ナンバー：		**VP 1340, VP 1340 W** 0008705, 0008706 **VP 1340W - L** 0630001 **VP 1340 W - LL** 0630002 **VP 1340 W - LF** 0630003	**VP 1550, VP 1550 W** 0008707, 0008708 **VP 1550 W** 0630013
プレート			
重量	kg	VP 1340: 74 VP 1340W: 76 VP 1340W-L: 76 VP 1340W-LL: 76 VP 1340W-LF: 76	VP 1550: 83 VP 1550W: 86
水タンク容量	*l*	3.8	7.6
エキサイター回転数	rpm	5800 ± 100	
エキサイター潤滑	ml	240　オートマチックトランスミッションフルード　Dextron III/Mercon または同等品	

2.3 騒音と振動

機械指令89/392/EECの第1.7.4.f項で規定された騒音値は以下のものです。

- A特性補正音響パワーレベル保証値（L_{WA}） = 108 dB（A）
- オペレータの耳元位置での音圧レベル（L_{PA}）：

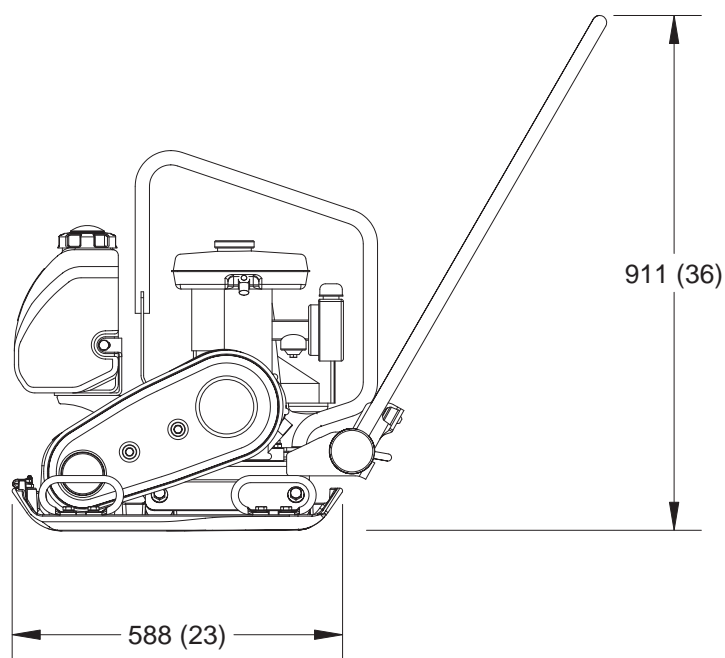
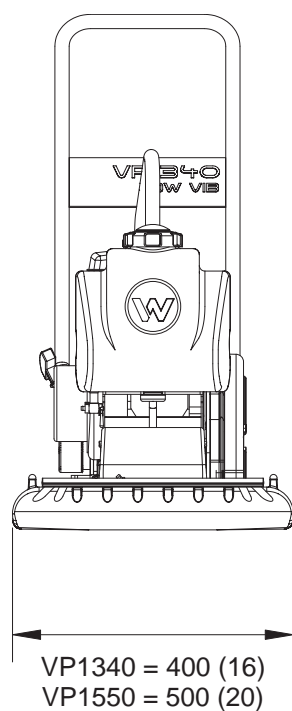
VP 1340 = 90 dB（A），VP 1550 = 91 dB（A）

これらの騒音値については，音響パワーレベル（L_{WA}）はISO3774に従って判定され，オペレータの耳元位置での音圧レベル（L_{PA}）はISO6081に従って判定されています。

加重有効振動加速度はEN ISO 5349パート1に従って判定されており，この数値は約4.5m/s^2です。

この騒音測定と振動測定は，標準エンジン回転数での砕石砂利に対する運転により行われています。

2.4　寸法

mm（in.）

3. 操作

3.1 推奨燃料

このエンジンには無鉛レギュラーガソリンを使用して下さい。新しい清浄なガソリンのみを使用して下さい。ガソリンに水分やゴミなどが混入していると燃料系統に故障をおこす事があります。詳しいガソリンの性状についてはエンジンの取扱説明書を参照して下さい。

3.2 使用目的

このプレートは，緩い粒子状の土や砂利，および舗装用敷石などの締め固め用に設計されています。本機は限定された区域や壁，縁石，基礎などの構造物周辺区域で使用して下さい。水タンクを装備したプレートはアスファルトの締め固めに使用できます。

このプレートは，重粘土を含んだ粘性土の締め固めには適していません。粘性土に対しては，振動ランマーかシープスフットローラーを使用して下さい。

3.3 始動前

3.3.1 このマニュアルの最初の部分にある安全情報と操作情報を読み，内容を理解しておいて下さい。

3.3.1 以下の項目を点検して下さい。

- エンジンのオイルレベル
- 燃料レベル
- エアークリーナーの状態
- 外側のボルトなどの締め付け
- 燃料配管の状態

3.4 始動

図参照 wc_gr000655

3.4.1 燃料バルブを下側に向けて開きます（a1 の位置）。

注：エンジンが冷えているときはチョークレバーを閉じ位置（d2）にします。エンジンが暖まっているときはチョークレバーを開き位置（d1）にします。

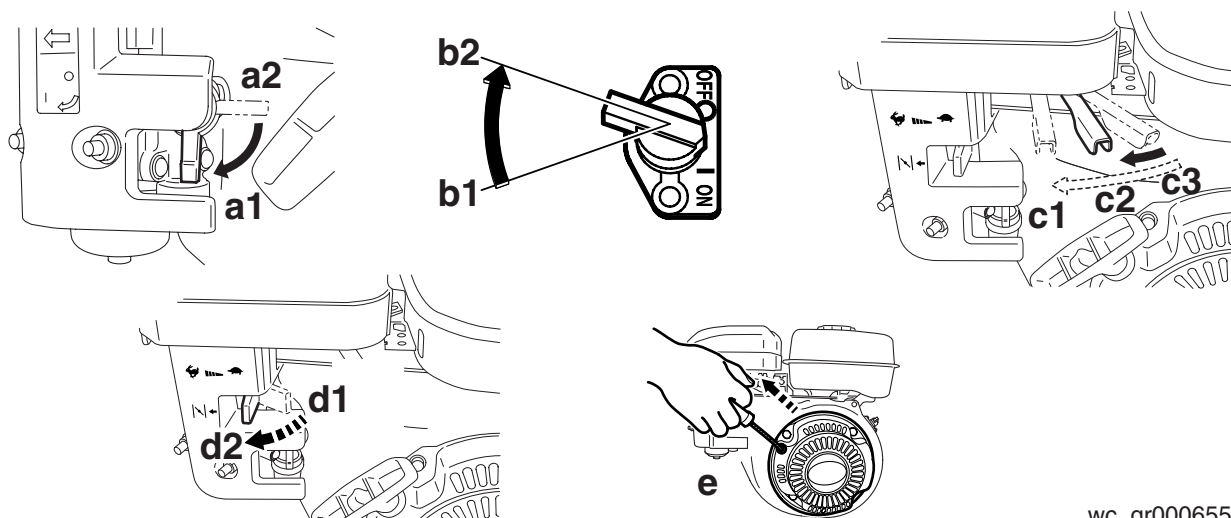
3.4.2 エンジンスイッチを「ON」位置（b2 の位置）にします。

3.4.3 スロットルを少し左側に移動させて開きます（c2 の位置）。

3.4.4 スターターロープ（e）を引きます。

注：エンジンオイル量が少ない場合にはエンジンが始動しません。この場合はエンジンオイルを補充して下さい。

3.4.5 エンジンが暖まったらチョークを開きます（d1 の位置）。

3.4.6 スロットルを全開（c1 の位置）にして本機を使用します。

3.5 停止

図参照 wc_gr000655

3.5.1 スロットルを右側一杯の位置にして（**c3** の位置）エンジン回転数をアイドリングに下げます。

3.5.2 エンジンスイッチを「OFF」（**b2** の位置）にします。

3.5.3 燃料バルブを閉じます（**a2** の位置）。

3.6 操作

エンジンを全開で運転してプレートを適正な速度で自走させます。上り斜面で使用する場合にはプレートを少し押さなくてはならない事もあります。下り斜面で使用する場合には速度が上がりそうならプレートを少し押さえて下さい。締め固め完了までには，締め固める材料に応じて 3 回から 4 回の作業を行うことを推奨します。

土中にはある程度の湿り気が必要ですが，湿りすぎている場合には土粒の結合を促して締め固めを阻害する原因になります。土が湿りすぎている場合には，少し乾かしてから締め固め作業を行って下さい。

土が乾いていてプレート運転時に埃が立つようなら，締め固める地面に湿り気を与えて締め固め条件を良くして下さい。これによりエアーフィルターの整備回数も少なくなります。

アスファルトの締め固めではアスファルトとプレート底面を濡らすための水タンクを使用して下さい。このことにより，アスファルト材の固着を防止できます。締め固め完了までには通常は 2 回の作業で充分です。

舗装用敷石の締め固めにプレートを使用する場合は，プレートの底面にパッドを当てて，石はねや石表面の粉砕を防止してください。このための特殊ポリウレタン製パッドがオプションアクセサリーとして用意されています。

注意 ：このプレートは，コンクリートなどの非常に固く，乾いて詰まった表面には使用しないで下さい。プレートが振動するというよりも飛び跳ねてプレートとエンジンの両方を損傷することがあります。

4. メンテナンス

4.1 定期点検のスケジュール

以下のチャートは基本的なエンジンメンテナンス項目を挙げたものです。詳細なエンジンのメンテナンスについてはエンジンメーカーの取扱説明書を参照して下さい。

	始動前の日常点検	使用開始から20時間後	隔週，または50時間毎	E 毎月，または100時間毎	毎年，または300時間毎
燃料量の点検	■				
エンジンのオイルレベル点検	■				
燃料配管の点検	■				
エアーフィルターの点検。必要なら交換。	■				
外側部品のチェック及び締付	■				
駆動ベルトの点検と調整		■	■		
エアークリーナーエレメントの清掃			■		
ショックマウントに損傷がないかの点検			■		
エンジンオイル交換		■		■	
エンジン冷却フィンの清掃				■	
ダストカップ / 燃料フィルターの清掃				■	
点火プラグの点検と清掃				■	
バルブクリアランスの点検と調整					■
エキサイターオイル交換					■

4.2 点火プラグ

図参照 wc_gr000028

本機の本来の性能を発揮するため，必要に応じて点火プラグの清掃または交換を行って下さい。エンジンの取扱説明書を参照して下さい。

エンジン運転中またはエンジン停止直後にはマフラーが高温になっています。温度が高いときにはマフラーに触らないで下さい。

注：推奨される点火プラグのタイプや電極ギャップの調整については技術データを参照して下さい。

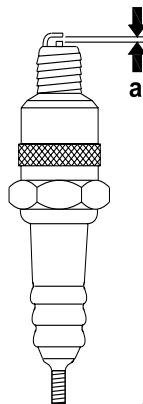
4.2.1 点火プラグを取り外して点検します。

4.2.2 絶縁部に亀裂が入っていたり欠けていたりしたら点火プラグを交換して下さい。

4.2.3 ワイヤーブラシで点火プラグの電極部を清掃します。

4.2.4 電極のギャップ **(a)** を調整します。

4.2.5 点火プラグをしっかりと締め付けます。

注意 ：点火プラグの締め付けが不充分だとプラグが高温になり，また，エンジンに損傷を与える事があります。

4.3 エアークリーナー

図参照 wc_gr000656

警告

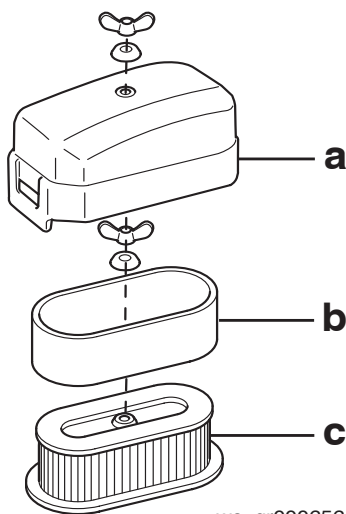
エアークリーナーの洗浄にはガソリンやその他の沸点の低い溶剤は使用しないで下さい。火災や爆発などを起こす可能性があります。

注意 ：エアークリーナーを外した状態ではエンジンを運転させないで下さい。エンジンに重大な損傷を与える事があります。

このエンジンはエレメント 2 個のエアークリーナーを備えています。通常の運転条件では週に 1 度エレメントを清掃して下さい。乾いて汚れやすい過酷な条件では毎日エレメントを確認して下さい。汚れがこびりついて落ちない場合はエレメントを交換して下さい。

4.3.1 エアークリーナーカバー (a) を取り外します。2 個のエレメントを取り外して孔や裂け目ができていないか点検します。損傷があれば交換して下さい。

4.3.2 中性洗剤を温水に溶かした溶液でフォーム材エレメント (b) を洗浄します。きれいな水でよくすすいでからエレメントを完全に乾かして下さい。

4.3.3 ペーパーエレメント (c) を軽くたたいてゴミを落とすか，フィルター内側から圧縮エアを吹き付けます。ペーパーエレメントがひどく汚れている場合には交換して下さい。

4.4 エンジンオイル

図参照 wc_gr000087

4.4.1 オイルはエンジンが暖まった状態で抜いて下さい。

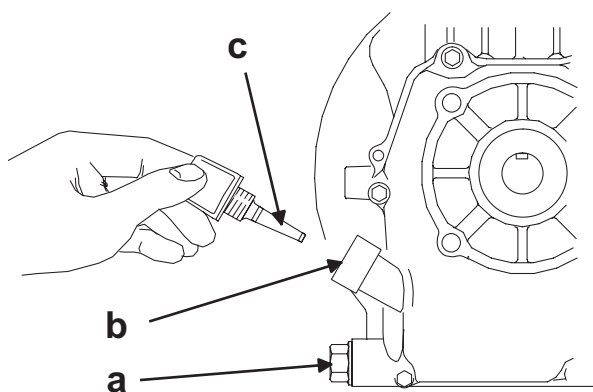
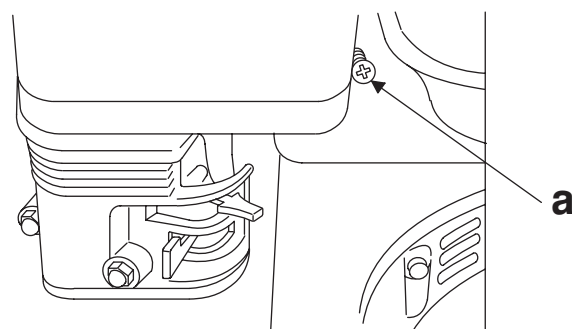
注：環境保護の観点から，機械の下にプラスチック製のシートとコンテナを置いて抜いたオイルを回収して下さい。このオイルは環境保護法令に従って処理して下さい。

4.4.2 オイルドレーンボルト **(a)** を取り外します。

4.4.3 オイルを抜き取ります。

4.4.4 オイルドレーンボルトを取り付けます。

4.4.5 オイルをオイルフィルター用開口部 **(b)** からエンジンクランクケースに入れ，オイルレベルゲージの上側のマーク **(c)** まで注入します。オイルレベル点検はオイルレベルゲージをねじ込まないで行います。オイルの量とグレードについては技術データを参照して下さい。

4.4.6 オイルを注入したらオイルレベルゲージを取り付けます。

wc_gr000087 wc_gr000280

4.5 エンジン回転数

図参照 wc_gr000280

全負荷回転数（3600 ± 100 rpm）を調整します。

エンジン回転数の調整方法

4.5.1 本機が動かないようゴム製のテストマット上におきます。

4.5.2 エンジンを始動させて暖まるまでしばらく待ちます。

4.5.3 エンジン回転数を上げる場合はストップスクリュー **(a)** を締めこみ，下げる場合は緩めます。回転数を測定する前にスロットルレバーがストップスクリューに接していることを確認しておいて下さい。

注意：技術データに指定された回転数以上でプレートを運転すると，プレートとエンジンに損傷を与える事があります。

4.6 フュエルストレーナーの清掃

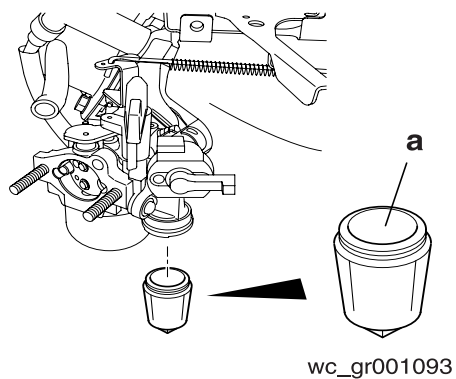
図参照 wc_gr001093

4.6.1 燃料レバーを閉じてフュエルストレーナーを取り外し，水分やゴミを取り除きます。

4.6.2 フュエルストレーナー **(a)** に水分やゴミが入っていないか点検します。

4.6.3 ゴミや水分を取り除いたら，ストレーナーカップを灯油かガソリンで洗浄します。

4.6.4 燃料が漏れないようしっかりと取り付けて下さい。

wc_gr001093

4.7 駆動ベルト

図参照 wpmgr005993

新品の機械および新しいベルトに交換した機械では,最初に20時間運転したらベルト張力を点検して下さい。それ以後は 50 時間ごとにベルト張力を点検して調整して下さい。

ベルト調整の方法

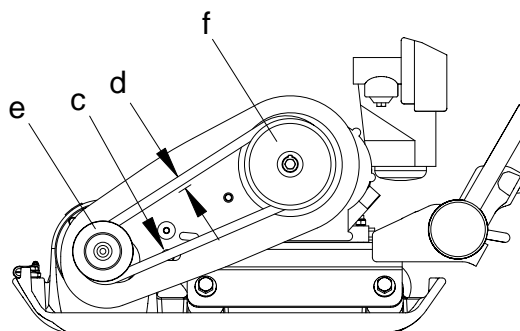
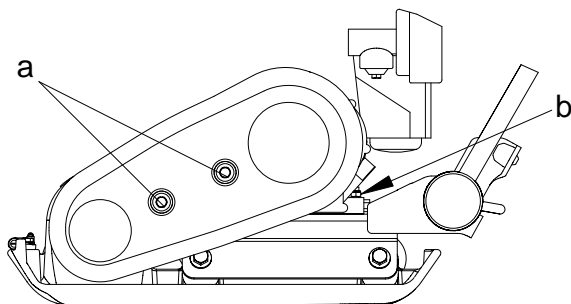
4.7.1 ベルトガードの 2 本のボルト **(a)** を緩めてベルトガードを取り外します。ボルトはベルトガードに付いたままになります。

4.7.2 エンジンをコンソールにとめている 4 本のボルト **(b)** と,背面側ベルトガードをコンソールにとめているボルト **(c)** を緩めます。

4.7.3 エンジンを後ろ側に(ハンドルの方向)ずらせばベルトが引っ張られます。前側にずらせば緩みます。

4.7.4 2 個のプーリーの中間位置 **(d)** で,たわみが 10-13mm になるようにベルト張力を調整します。

4.7.5 クラッチプーリー **(f)** とエキサイタープーリー **(e)** の位置が揃うようにして下さい。まっすぐな物差しなどをエキサイタープーリー **(e)** にあてておいて,これにあわせてエンジンを移動させれば 2 つのプーリーが揃います。

4.7.6 ナットとボルトの全てを 20.5Nm で締め付けて本機を組み立てます。

wpmgr005993

4.8 エンジン潤滑

図参照 wpmgr006018

エキサイターアセンブリー内のベアリング潤滑はかきあげ式で，アセンブリーは非常な高速回転をしています。このため，エキサイターオイルの訂正量を保ち，定期的に交換する事が重要です。

エキサイターのオイルレベルは，運転 50 時間ごとに点検して下さい。

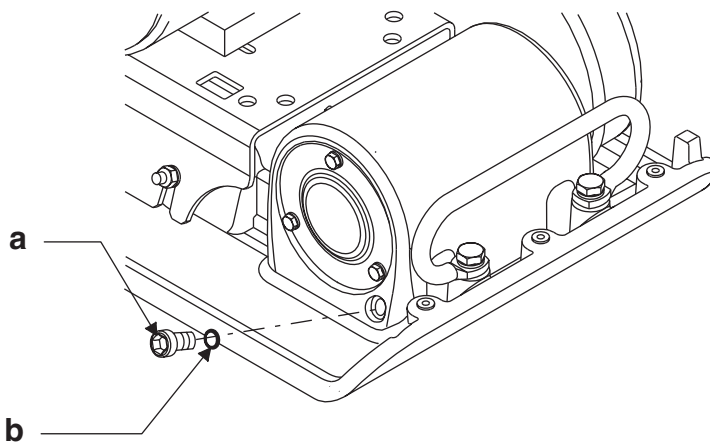
オイルレベルを点検するときにはプレートを水平で平坦な面に置いて下さい。ドレーンボルト **(a)** とシールリング **(b)** を取り外します。オイルレベルがドレーンボルトのねじ孔位置なら適正です。必要なら補充して下さい。

エキサイターオイルは運転 300 時間ごとに交換して下さい。

オイルを抜くには，エキサイター端部のドレーンボルト **(a)** を取り外してプレートを傾けます。

注 ： 環境保護の観点から，機械の下にプラスチック製のシートとコンテナを置いて抜いたオイルを回収して下さい。このオイルは環境保護法令に従って処理して下さい。

プレートを水平面上に置き，ドレーンボルトのねじ孔位置までオイルをドレーン孔から注入します。技術データを参照して下さい。

注意 ：入れすぎないで下さい。エキサイターのオイルが多すぎると性能が低下し，駆動ベルトを損傷することがあります。

wpmgr006018

4.9 機械の清掃

プレート使用後には，エンジンコンソール下側に付着したゴミや石，泥などを取り除いてください。汚れやすい場所で作業した場合はエンジンの冷却フィンが泥などで詰まっていないか点検して下さい。エンジンの過熱防止のため，冷却フィンは常にきれいにしておいて下さい。

4.10 機械の吊り上げ

図参照 wpmgr006023

機械の重量については技術データを参照して下さい。

娕奆傪庤嶌嬈傆傓偪忋偘偨偄偵偟偨

4.10.1 エンジンを停止させます。

4.10.2 手伝いを頼んで作業の相談をします。

火傷や火災を防止するため，エンジンが冷えてから機械の運搬や室内への保管作業を行って下さい。燃料バルブを OFF 位置にして，エンジンは水平を保ち燃料が流出しないようにして下さい。

4.10.3 機械の持ち上げ用ハンドル **(a)** と **(b)** を握ります。

注意 :VP 1340 には前側左の持ち上げ用ハンドル **(a)** がありません。両手で持ち上げ用ハンドル **(b)** を持って下さい。

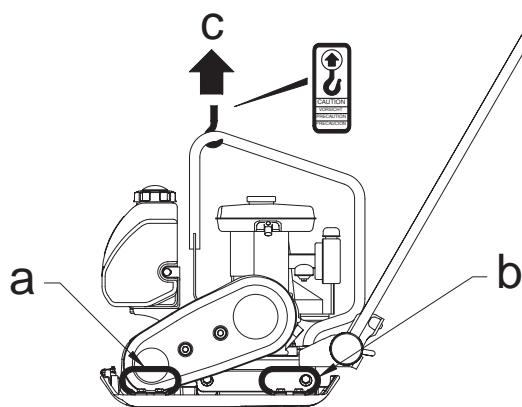
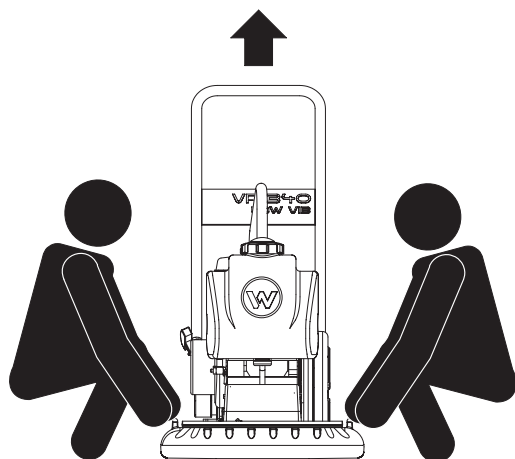
4.10.4 図のように本機を持ち上げます。

持ち上げるときに背中を痛めないよう，足を肩幅に開いて地面にしっかりと付いて下さい。頭を上げて背中はまっすぐにして下さい。

娕奆懎抲傪嚶梀偱傒偨偔偲偵偟偨

拲堄丗吊り上げ作業の前に，吊り上げ装置が本機の重量を安全に保持できることを確認して下さい。機械の重量については技術データを参照して下さい。

4.10.5 フックやハーネスまたはケーブルを図の位置（**c** の位置）に取り付けて吊り上げます。

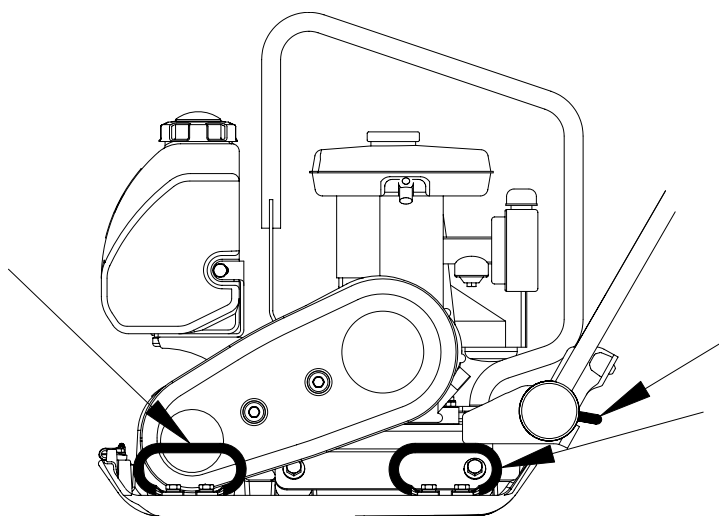
注意 : ガイドハンドルを使用して本機を持ち上げないで下さい。本機が動いて落下する事があります。

wpmgr006023

4.11 機械の輸送

図参照 wpmgr006043

火傷や火災を防止するため，エンジンが冷えてから機械の運搬や室内への保管作業を行って下さい。

4.11.1 燃料バルブを OFF 位置にして，エンジンは水平を保ち燃料が流出しないようにして下さい。

4.11.2 本機が滑り出したり横転したりしないよう車両にくくりつけて下さい。図に示した位置で縛りつけます。

wpmgr006043

4.12 保管

プレートを 30 日以上保管するときには以下の作業を行って下さい。

4.12.1 プレートから石や泥などを取り除きます。

4.12.2 エンジンの冷却フィンを清掃します。

4.12.3 エアーフィルターを清掃するか交換します。

4.12.4 エキサイターのオイルを交換します。

4.12.5 エンジンオイルを交換し，エンジンのマニュアルに記載された保管用作業を行います。

4.12.6 プレートとエンジンにカバーをかけて汚れのない乾燥した場所に保管します。

4.13 トラブルシューティング

問題 / 症状	原因 / 対策
プレートが全開運転しない。締め固め不良。	・ エンジンのスロットル操作装置が充分に開いていない。 ・ スロットル操作装置の調整不良。 ・ 地面の湿りすぎでプレートが固着している。締め固めの前に地面を乾かせる。 ・ 駆動ベルトが緩んでいるか磨耗していてプーリーが滑っている。ベルトを調整するかベルトを交換する。エンジン取付ボルトが締まっているか点検する。 ・ エキサイターベアリングの作動不良。エキサイター用オイルの状態と量を点検する。オイルを補充するか交換する。 ・ エアーフィルターにゴミが詰まっていてエンジン出力が低下している。エアーフィルターを清掃するか交換する。 ・ エンジン回転数が低すぎる。回転計でエンジン回転数を確認する。適正回転数になるようエンジンを調整するか，または修理する。エンジン用マニュアルを参照して下さい。
エンジンは運転するが振動を発生しない。	・ エンジンのスロットルが開いていない。 ・ 駆動ベルトが緩んでいるか切れている。調整または交換。 ・ クラッチが損傷している。点検してクラッチを交換する。 ・ エンジン回転数が低すぎる。エンジン回転数を確認する。 ・ エキサイターのオイル量が多すぎる。オイル量を適正レベルに調整する。
プレートがはねる。または締め固め不均等。	・ 地面が固すぎる。 ・ ショックマウントが緩んでいるか損傷している。